

(第10条関係)

防府市議会懇談会報告書

平成30年(2018年)6月14日

防府市議会議長 様

防府市議会教育民生委員会

委員長

上 田 和 夫



下記のとおり、防府市議会懇談会実施要綱第10条第1項の規定により議会懇談会の結果を報告します。

記

会議のテーマ	通級指導教室増設の必要性について
懇談会申込団体等	華浦小学校通級指導教室保護者の会
懇談会開催日時	平成30年6月5日(火) 14時30分～16時15分
懇談会開催場所	防府市議会棟3階 全員協議会室
申込団体等参加人数	3人
懇談会の結果概要	<p>1 申込団体代表によるテーマの趣旨説明の後、同団体と意見交換を行った。</p> <p>【趣旨説明】</p> <ul style="list-style-type: none">・市内の通級指導教室の増設を求め、昨年度から市教育委員会及び県教育委員会への要望や署名活動を行っている。通級指導教室の現状を知っていただき、増設について市議会の力添えをお願いしたい。・通級指導を受けている児童生徒数が増加し続けている中、県では今年度から高等学校における通級指導がはじまり、小学校→中学校→高等学校と途切れることのない支援、連続した多様な学びの場の整備という、県のビジョン実現に向けた取り組みが始まったと言える。 防府市の通級指導教室数は、県内他市と比較しても決して多くはなく、特に中学校は、佐波中学校1校のみである。思春期を迎える児童生徒は、自我を確立しはじめ、心理的葛藤による他校通級への抵抗や保護者の送迎負担等の理由から、通級による指導が必要にも関わらず、中学校での通級指導を断念せざるを得ない状況にある子どももいる。・他市の状況を聞くと、通級指導教室の設置数に比例し、子ども・保護者・教員の通級指導に対する認識のレベルが市によって異なっていると感じている。通級指導を受けるきっかけの大半は、教員のアドバイスによるものが多いのだが、防府市は他市と比べると、通級指導に対する認識の薄さや周知の低さ等、遅れを感じる。・対象児童生徒の指導方法や目標、日々の様子を記した「個別の指導計画」を活用し、適切な支援及び必要な指導をしていただきたい。・通級指導教室幼児部への通級希望者が急増している。現在、佐波小学校と華浦小学校に幼児部の設置があるが、定員枠に達しており、通級希望者が吐き出し状況にある。



<p>懇談会の結果概要</p>	<p>【意見交換（委員からの質疑及び団体の答弁）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通級希望者は何人位いるのか。 →確かな希望者数は分からないが、通級指導対象者は1クラスに6%程度存在すると言われている。また、幼児の対象者も増えており、教員数、教室数も足りていない状況。 ・通級指導教室の指導教員は専門の教員か。 →指導教員は通級指導のためだけに配置されている。特別な指導を受けた教員が配置されているのかは分からないが、通級指導教室の支援・指導は専門性を必要とする。特別支援学級の教員であれば指導能力はあるかもしれないが、配置基準が異なるため、通級指導との兼務はできない。 ・個別の指導計画があれば、小学校→中学校→高等学校と連携され、児童生徒に合った指導がされると聞いていたが、実際は活用されていないのか。 →個別の指導計画について知らない教員もいる。個別の指導計画の作成は、ある程度進められているが、活用はまだ不十分な状況。 ・通級指導教室幼児部の状況は。 →佐波小学校、華浦小学校に指導者2人ずつ、幼児50人ずつ在籍していると思う。希望者数まで調査することはできない。 ・教員数を増やし、巡回指導の形態をとれば自校で指導を受けることができると考えるが。 →巡回指導であっても別に教室が必要となる。巡回指導を始める際には、実施する学校全児童生徒を対象に希望者を募る必要があると聞いた。このことにより希望者が増え、教員不足が生じるおそれもある。 ・中学校通級者の現状は。 →通級者の大半は、佐波小学校で自校通級していた生徒。 ・通級指導教室を全学校に設置し、自校通級を可能とすることが理想と考えるが、簡単には実現しない。具体的に設置希望の学校があるのか。 →中学校にもう1校設置して欲しい。華浦小学校通級指導教室には、華城・華浦・新田小学校の児童が通っていることや、大規模校でもあることから、桑山中学校に一番に設置して欲しいという思いはある。また、桑山中学校は校舎を建て替えられたこともあり、通級指導教室のためのスペースを確保することができるのではないかと考える。 <p>2 趣旨説明、意見交換を踏まえて、委員会としての今後の対応について協議した。</p> <p>【協議】</p> <p>平成30年3月市議会定例会一般質問において、「通級指導教員の配置状況については、教員一人当たりの児童生徒数は他市と同等であり、丁寧な指導を行うことができている」、「通級指導教室の増設については県に要望する」との答弁を受けているが、通級指導教室幼児部も含めた今後の考えを執行部に聞き、教育民生委員会として各委員が情報を整理したうえで、今後の対応を検討する必要がある。</p>
<p>今後の対応（案）</p>	<p>通級指導を受けている児童生徒数の増加、また通級指導を断念せざるを得ない環境にある児童生徒がいること等、今回の懇談会で伺った内容を踏まえ、通級指導教室に対する市としての方向性などを確認するため、教育民生委員会所管事務調査を開催し、その後の対応を協議、検討する。</p>